

活動をとおして

スポーツ・レジャーマネジメント学科：日野瑛恵

わたしはこのようなサポートする立場として外国人の子供たちと共に過ごしたり、NPOの活動に参加するのは初めてのことでした。宗教や文化が日本とは大きく異なる両国でさらに政治背景も難しい立場だったのでうまくサポートできるか不安でした。やはり食事の面であったり彼らの育ってきた環境を考慮し日本の文化・習慣とうまくバランスを取るのは大変でしたが、柔道というひとつのスポーツをとおし皆と協力し合う事でうまくサポートすることができ、彼らに自身とっても成長できたと感じています。また、通訳の児玉さんやイスラエルのコーチとイスラエル社会情勢や歴史を生々の声で聞く機会もあり、イスラエルの本当の姿や自分の知識のなさに気づくことができました。

約1週間みんなと過ごし最後を見届けるまでをとおして、ホストとして国際交流を行うときに私たちは見返りを求める必要はないということ、ただ互いが笑顔で過ごすことができ笑顔で帰ってくれるというのがどれだけ幸せなことであるのかというのを感じました。このような素晴らしい機会に学生のうちに参加することができ大変嬉しく思うとともに、感謝の気持ちでいっぱいです。



※左2枚イスラエルチーム
右2枚パレスチナチーム

